

令和 6 年度第 2 回小牧市立図書館協議会 会議録

日時 令和 7 年 2 月 12 日(水) 午後 1 時 30 分から午後 3 時

場所 中央図書館イベントスペース

出席委員 12 名

会長 家禰 淳一 (愛知大学文学部人文社会学科教授)
副会長 福嶋 淳代 (小牧市小中学校長会図書担当・篠岡中学校長)
岩瀬 徹 (小牧市小中学校 PTA 連絡協議会委員)
坂廻辺 範子 (小牧市社会教育委員)
林 由紀宏 (こまき市民文化財団事務局長)
滝沢 とみ子 (図書館ボランティア代表)
早川 渡 (愛知文教大学図書館長)
長江 美津子 (名古屋経済大学人間生活科学部教育保育学科特任教授)
梶田 光俊 (小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター所長)
水谷 直美 (公募委員)
丸山 真由美 (公募委員)
松本 高幸 (公募委員)

欠席委員 1 名

鈴木 貴子 (指導保育士)

事務局

中川 宣芳 教育長
伊藤 京子 教育部長
矢本 博士 教育部次長
岩本 淳 図書館長
花里 千賀子 図書館図書係長
長谷川 宏 図書館施設運営係長
赤尾 淳 図書館図書係主査

傍聴者 0 名

配布資料

資料 1 点検評価シート(案)
資料 2 令和 7 年度小牧市教育委員会基本方針(案・抜粋)
資料 3 第 2 次小牧市図書館サービス計画(案)及び令和 7 年度事業計画(案)

会議内容

■開会

赤尾主査 ただいまより、令和 6 年度第 2 回小牧市立図書館協議会を開催いたします。進行を務めます図書館の赤尾と申します。どうぞよろしくお願いいたします。この会議は小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、会議を公開しています。現在出席者は 11 名※であり、委員の過半数の出席により会議が成立していることを報告いたします。なお、傍聴者は 0 名です。会議の開催にあたり、中川教育長よりご挨拶を申し上げます。

※この時点で不在だった委員 1 名が到着し、12 人の出席となった。

中川教育長 みなさんこんにちは。令和 6 年度第 2 回小牧市立図書館協議会に大変ご多用の中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。日頃は本市の図書館運営に格別のご理解ご支援を賜っておりますことを重ねてお礼を申し上げます。さて、小牧市におきましては本年 1 月 1 日に市制施行 70 周年を迎えたところでございます。1 年を通して市全体で様々な記念事業等を実施してまいります。図書館におきましても、現在開催している当館の郷土資料を存分に活用した特集展示「小牧市制 70 周年メモリアル」を皮切りといたしまして、小牧の昔話をもとに職員が脚本を作った「ふるさと人形劇」、昭和・平成・令和、時代とともに移り変わる小牧に関するクイズイベントなど、皆様方が郷土について楽しく学んでいただけるさまざまな企画を考えているところでございます。ぜひ、この機会に委員の皆様方にも企画をご覧いただきまして、大いに盛り上がっていただけたらということを思う次第です。さて、本日の議題につきましては 3 点掲げさせていただきます。1 点目は、令和 6 年度の実績点検評価についてでございます。2 点目につきましては、それを踏まえた次年度の教育委員会基本方針に基づく重点施策について、これをお示しさせていただきます。3 点目として、第 2 次図書館サービス計画についてご審議いただくことになっております。限られた時間ではございますが、ぜひ委員の皆様方の活発なご意見をいただきまして、有意義な会にしていきたいと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。

赤尾主査 ありがとうございます。続きまして、次第 2「議事」に入ります。これより進行を家禰会長をお願いいたします。

家禰会長 みなさんこんにちは。先日、堺市で研修講師をやってきました、その時に元石川県立図書館司書の鷺澤淑子さんという方も講師をされていて、地域資料のデジタルアーカイブについてお話をされていました。石川県立図書館は 1 月の地震で大変だったんですけれども、地域の資料を残していく、さらにウェブを通して発信していくということを話しておられました。さきほど教育長からもお話があったように、小牧も地域に対するいろんな活動や、あるいは図書館で資料をデジタル化して残し、発信していくということは、地域アイデンティティを涵養していく非常に重要な仕事であると思いました。もう一つ、昨年障がい者関連で関歌子さんの講演をお聞きしました。講演会の内容も良くて感動したんですが、こういった形でさまざまな機会を使って障がい者の方が発信することができるようになってきました。障がいを持った方たちから我々が影

響を受けることもあったと感じましたし、歌子さんが社会自体を動かしているということも思いました。障がい者の方たちが参加できるような形を、いかにして図書館がサポートしていくのかということを感じた次第です。読書バリアフリー計画につきましては、都道府県を中心にいろんな自治体が策定しております。文科省のホームページを見ますと、12 の都道府県で単独の読書バリアフリー推進計画を作っています。そのほかでは福祉計画の中に盛り込むという形を取っているところもあり、愛知県もそのようにしています。こういったことから障がい者のバリアフリーについて図書館がサポートできることを考えていく必要があるなと感じました。さて、本日は議事が 3 点ございますので、それらについて忌憚のないご意見を伺えればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。それでは議事(1)につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

花里係長 それでは議事(1)「小牧市教育振興基本計画に係る令和 6 年度実績点検評価について」説明をさせていただきます。資料 1-1 をご覧ください。小牧市教育振興基本計画の施策のうち、令和 6 年度教育委員会基本方針の中で重点施策として位置づけられた施策については、評価委員の点検及び評価に先立ちまして各所管の審議会に付議することとされています。図書館においては施策 8「施設配本サービスの実施」及び施策 23「電子図書館の充実」がこれに該当するため、本協議会にてご審議をいただき皆様の意見を伺うものでございます。まず基本目標 2「認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成」より施策 8「施設配本サービスの実施」についてです。内容といたしまして、「施設配本サービス拡充のため、現在未実施の「小規模保育事業所」に対し、サービスの周知を行います」としております。この取組内容に対する達成状況について、次の行に記載しております。現時点においてまだ取組の途中ですので、一部の項目が見込み値になっております。市内の小規模保育所 18 施設に対しまして、配本サービスの利用について周知を行いました。このうち 14 施設から利用の申し出がございまして、現在継続してご利用いただいているところです。これに伴い、配本資料の貸出点数が増加いたしました。なお、小規模保育所とは 0 歳から 2 歳までのお子さんを対象に少人数の定員できめ細やかな保育を行っている施設を指します。本取組は令和 6 年 1 月、つまり令和 5 年度末から順番に少しずつ進めておりましたので、前年度と今年度を合わせて 14 施設から新規の利用申込があったということでご理解いただければと思います。次に課題といたしまして、「施設配本サービスの利用者の増加に伴い、資料のリクエストに十分に応えられない現状がある」といたしました。このことから、今後の取組の方向性として、「配本サービスの利用者からのリクエストや教科書の改訂等に合わせて資料を選書・収集し、引き続き良質な資料の充実に努めます」といたしました。続きまして、資料 1-2 をご覧ください。基本目標 5「豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり」より施策 23「電子図書館の充実」としております。内容といたしまして、「『こまきデジタル・コレクション』にて一般公開している電子書籍化した郷土資料の特集コーナーを、電子図書館の中に新設します」としております。この取組内容に対する達成状況につきまして、電子図書館の中に郷土資料に関する特集コーナーを設け、3 ヶ月ごとにコーナーの内容を更新いたしました。閲覧数や貸出数について、こちらは 12 月末時点の実績を記載しております。点検評価委員会に提出する際には 3 月末の実績に改めて提出する予定です。こちらの実績にもありますように、閲覧数や貸出数も伸びてきておりますので、取組の

効果が表れていると考えております。課題といたしまして、電子図書館の認知度が高まっている一方で、電子書籍のタイトル数が少ないために利用者の増加が抑制されていると考えております。また、高齢者を中心としたスマートフォンやパソコンの利用になじみのない利用者層において、電子図書館の利用が進みづらい現状があります。今後の取組の方向性として、利用者の興味を引く郷土資料のデジタル化を進め特集コーナーを定期的に更新することでコーナーの鮮度を維持するとともに、引き続き電子図書館の資料の充実を図ってまいります。他方、高齢者などパソコンなどになじみのない利用者に対しては、出前講座等を通じて電子図書館へのアクセス方法を周知することで、デジタルデバイドを解消するとともに電子図書館の利用者を増やす必要があるとしました。説明は以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

家禰会長 ありがとうございます。それでは事務局の説明に対しまして、ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願いいたします。配本サービス拡充について、施設も多くなってきていますので、大変多くの貸出点数になると思うんですね。特に小規模保育事業所は非常に需要が多いところでもあるので、できれば資料費を増額するなど考えていただければと思います。子育てにも関係しますので、資料費について確保できれば「課題」の部分も解消されるかなと思います。ほかに何かご意見ありますでしょうか。

林委員 資料に配本登録団体数が 129 から 137 になり、その内小規模保育所は 137 のうち 15 とありますが、そのほかどのような団体があるのか教えていただければと思います。

花里係長 団体としましては、幼稚園、保育園、小学校、中学校、そのほか児童クラブや市内児童館も対象としております。

松本委員 私はもともとそんなに本を借りることはなかったんですが、図書館協議会委員になったのをきっかけに電子図書館で本を借りてみたらすごく便利でした。ログインすれば家のパソコンでも、電車に乗っててもスマホで読めるし、おまけに返しに行かなくていいです。資料にも書いてありますけど一回知った人はどんどん使うと思いますので、使い始める最初の壁があるように思いましたので、ぜひ周知をどんどん進めていただけたらと思います。質問なのですが、読みたいと思う本が結構貸出中なんですけども、デジタルソースなので誰でも(同時に)見れるんじゃないかなと直感的には思ったんですね。わざと本当の本みたいに「誰かが借りてると読めない」と作ってるのか、システムの 1 人しか読めないとしているのか、教えていただけたらと思います。

花里係長 電子書籍は「アクセス数」というものがありまして、「アクセス数 1」というふうに購入しますと、「1 冊しかない紙の本が借りられていたら次の人は予約して待つ」と同じように、その電子書籍を借りている方がいらっしゃる場合、次に読みたい方は予約して待つという運用がなされています。

家禰会長 技術的には複数の方が同時に見られるのですが、「1 つのアクセス権を購入する」という契約上の問題があるということですね。地域資料のデジタル化もこれと同じく著作権上の問題が含まれますので、数を増やしていくということや独自のデジタル化をしていくには予算に加えて著作権のクリアが必要です。資料の著作権を持っている方がいる場合、そのクリアをして

いかないとウェブ上で発信できないという点があります。そういった著作権処理をやっていかないと、なかなか進まない面があります。また、電子書籍についてどこの自治体もそうなんですが、なかなかアクセスが伸びないという課題がありますので、資料にも書いてあるように PR の方法を考えていただければと思います。他に何かご意見などございますでしょうか。この議事は点検評価シートについてですので、来年度実施される評価に関係してくるものかと思います。意見が出尽くしたようですので、議事(1)につきましては以上で終了といたします。次に議事(2)について、事務局より説明をお願いいたします。

花里係長 それでは、議事(2)「令和 7 年度教育委員会基本方針について」ご説明を申し上げます。資料 2 をご覧ください。令和 7 年度教育委員会基本方針につきましては今後教育委員会の中で決定されていくこととなりますが、各施策のうち図書館が重点的に行う具体的な取組として、次の 2 点を選定いたしました。まず、施策 8「子どもの読書活動の推進」から「こどもの発達段階に合わせた図書館資料の選書・充実」といたしました。この背景といたしましては、子ども向けの郷土資料の出版数が少ないという現状がありまして、一般向けに出版された郷土資料をもとに、子どもでもわかりやすく親しみやすい資料として何かアレンジした資料が作れないかと考えました。今年は市制 70 周年の記念の年でもありますので、子どもたちに小牧に関する郷土資料に触れるきっかけになるような取組として、図書館オリジナルで「小牧ふるさとカルタ」を作成しようと企画いたしました。このふるさとカルタを作成することで楽しみながら郷土について学ぶ機会を子どもたちに提供するとともに、郷土を愛する心の醸成に寄与したいと考え、この項目を重点施策といたしました。次に施策 23「図書館サービスの充実」から「障がい者サービスの実施」といたしました。読書バリアフリー資料とサービスの一層の充実を図るとともに、障がいの有無にかかわらず参加できるイベントを開催することで、すべての方の学びを支援していくことを目標として、この項目を重点施策とさせていただきました。説明は以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

家禰会長 それでは、ただいまの事務局からの説明に対しましてご意見ご質問等ございましたらご発言をお願いいたします。

坂廻辺委員 楽しみながら郷土を学ぶということで、ふるさとカルタというのは大変興味深い施策だなと思いました。今後どこへ行くとこのカルタと触れ合うことができるのか教えていただけますか。

花里係長 いま読み句や絵札を考えているところなのですが、できれば秋ぐらいにきっかけ作りとして図書館でカルタ大会を実施したいと考えております。将来的には配本資料として受入登録を行い、小学校や子どもたちが集う児童クラブもしくは児童館などに貸し出すことで、子どもたちが楽しみながら楽しみながら郷土について学ぶ機会が作れると良いなと考えております。

坂廻辺委員 ありがとうございます。とても楽しみです。

家禰会長 私が前に勤めておりました堺市でも「堺カルタ」という子ども向けのものが昔からありまして、作ってから長くずっと使われていまして、学校でも使っていたと思います。このカルタ

も図書館のほか学校でも活用できるような形をとっていただければと思います。ほかにご意見ございますでしょうか。

長江委員 資料の「具体的な取組」に「こどもの発達段階」とあえて謳ってありますので、小学生だけではなく幼児向けのカルタも作っていただけると保育所とか幼稚園で遊ぶ機会が多いので郷土に親しんでくれると思います。

家禰会長 ありがとうございます。2つ目の「障がい者サービスの実施」という施策について、小牧の図書館では読書バリアフリー資料はかなり揃っていると思います。さらにいろんなところと連携を取った上で、相互貸借を含めた資料の充実、あるいは活用の PR など、そういったことも含めてやっていただければと思います。他にご意見ご質問などありますでしょうか。では、議事(2)については以上で終了したいと思います。続きまして、議事(3)につきまして事務局より説明をお願いいたします。

岩本館長 それでは、議事(3)「第 2 次小牧市図書館サービス計画(案)について」説明を申し上げます。お手元の資料 3-1 をご覧ください。令和 6 年 8 月開催の第 1 回図書館協議会でもご説明をさせていただいたものですが、前回から数点変更箇所がございますので、そのご説明をさせていただきます。まず、16 ページ「(3)市民が取組む生涯学習を支援する取組」の表、下から 2 番目「障がい者の学びと社会参画の促進」の項目でございます。生涯学習を支援する取組項目であることから、「取組項目」の文言に「学び」を加え、「内容」の欄は「学びを支援」と修正いたしました。次に、17 ページ「基本指標」の部分につきまして、第 1 回図書館協議会にて「大幅な伸びが現実的に期待できないことから具体的な目標値は設定しない」という旨のご説明をいたしました。これに対し、林委員より「目標値を設定するか、または設定しない理由を文言として記載すべきではないか」というご意見をいただきました。この点につきまして、量的指標の拡大のみを目的化することは計画の趣旨を損なうことにつながりがかねないと考えまして具体的な目標値は設定しないことといたしました。しかしながら、事業を進める上で目指す方向性を明らかにすることは意義がございますので、本文中に「方向性として『向上』を目指す」と記載することといたしました。続きまして、資料 3-2-1、3-2-2 をお願いします。このサービス計画に基づく令和 7 年度事業計画を作成いたしました。内容としましては、議事(2)で提案いたしました教育委員会基本方針として選定した 2 つの施策について、施策を進める上で解決すべき課題を「重点取組項目」として具体化し、進捗管理のため個別指標を設定したものです。なお、個別指標は各評価時期において達成すべき状態の形で設定しました。まず、重点取組項目①として、「子ども向け郷土資料の出版数が少なく、十分に収集できていない」という課題に対するものです。課題解決の取組として、「(1)より積極的に子ども向け郷土資料を収集するため、選書の幅を広げる」、「(2)子ども向け郷土資料を充実させる一環として『(仮称)小牧ふるさとカルタ』を作成する、また作成したカルタのデータをホームページに掲載する」としました。個別指標達成後の展望については記載したとおりです。次に、重点取組項目②として、「当館が行う読書バリアフリーサービスが十分に周知できていない」という課題に対するものです。課題解決の取組として、「(1)障がい当事者に関わらず、全ての利用者に対して広く読書バリアフリーサービスの周知につながるイベントを開催する」、「(2)障がい当

事者の図書館利用を促すイベントを開催し、サービスの周知を図る」といたしました。個別指標達成後の展望については記載したとおりです。本事業計画の進捗状況については、来年度の図書館協議会で報告させていただく予定です。説明は以上です。よろしくお願いいたします。

家禰会長 ありがとうございました。それでは事務局の説明に対してご意見ご質問がございましたら発言をお願いいたします。

丸山委員 さきほどから話題のふるさとカルタについて、作成したカルタのデータをホームページに掲載するというのは、ダウンロードしてご家庭で使っていただくという意図なんでしょうか。

花里係長 配本資料としてみなさんに使っていただくというのもあるのですが、同時に図書館ホームページにもデータをアップして、ご自宅で印刷していただき、ご家族でも楽しんでいただきたいと思います。

丸山委員 私は子どもの日本語ボランティアをやっているんですけども、外国人の子どもたちにカルタがすごく人気で、昔話カルタとかドラえもんカルタとかを使っているんですけど、このふるさとカルタも「これは良い！」と思い、楽しみにしております。

早川委員 ふるさとカルタの対象として「子ども」と書かれているんですけども、大学にも留学生がおり日本語を学ぶこともあるので、それも合わせてできるのかなと思いました。小牧に在住している学生もおりますがそれ以外の者も多いので、そういう学生が小牧のことを知る良い機会にもなると思いました。

水谷委員 こまき視覚障がい者の会をしております水谷と申します。この図書館のイベントスペースを利用させていただいて、私もバリアフリーを少しでも進めていけたらいいなと思い、いろんな企画のイベントをさせていただいています。カルタの話をお聞きしまして、本当に興味深く感じました。子どもさん向けなんでしょうけれども、私もやってみたいと思いました。バリアフリーを私たちのできる方法でどういうふうに進めていったら良いかと考え、今年度私たちこまき視覚障がい者の会でも、視覚障がい者の「あるある」をまとめた「見えないってどゆこと?カルタ」を作りました。このカルタには目の見えない人と見える人が一緒に遊べるような工夫がされています。読み札にも絵札にもICタグをつけまして、読み札や絵の説明をスマホを使って音声で聴けるようになっています。この「見えないってどゆこと?カルタ」を視覚障がい者を理解していただくためや、社会のバリアフリーを進めていくためのものとして図書館のイベントスペースや教育現場で活かしていただけたら良いなと思います。

家禰会長 見えない方の「あるある」を集めたカルタということで、障がい者の方への理解を深めるということに加えてバリアフリーサービスの周知という意味でも、図書館を通じてそのカルタを広めていただければと思います。これに付随して何か企画を考えていただけると良いと思いますので、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

岩瀬委員 ふるさとカルタのことで伺いたいのですが、この言語は日本語だけなのでしょうか。小学校や保育所に通っているいろんな国のお子さん、またそのご家族がいらっしゃると思うのですが、そういう方たちに小牧の歴史などを知ってもらうのもひとつのバリアフリーだと思いますので、なかなか歴史のことを外国語で表現するのは難しいとは思いますが、どういう取組をされているかお聞かせ願いたいと思います。

花里係長 これまで子ども向けの郷土に関するカルタを作ったことがなかったので、まずは日本語で小学校 2 年生から 4 年生くらいの子が楽しめるような、理解できるような言葉で作っていくということが第一段階になります。多言語化について将来的にできると良いとは思いますが、検討していきたいとは思いますが、まずは日本語で作成したいと考えております。

梶田委員 子ども向けの郷土資料の出版数が少ないためカルタを作られるとのことで、とっかかりとしてはとても良いなと思います。カルタを作成するにあたって膨大な資料に当たられるだろうし整理されるだろうと思います。それらの資料を子どもたちが検索できるような形を作っていただくと、小牧市でも探究学習が始まると聞いておりますので、そういった場面で「小牧の郷土について詳しく知りたい」となったときに資料の数が少ない、何に当たれば良いのかとっかかりがつかない。そこでこのカルタをひとつのとっかかりとして、そこからどんどん探究が深まっていくとなおさら面白いただろうと思いますし、他の施策の中でデジタルデバイスの活用だとか、障がい者のバリアフリーといったことの解決にもつながっていくだろうと思います。それらも視野に入れてカルタの作成をしていただけるとありがたいと思います。

家禰会長 カルタとリンクして参考資料もアップすると良いと私も思います。なかなか難しい資料が多いと思うのですが、小牧で活動されている郷土史家の方もおられると思いますので、その方たちと連携を取って、できれば子ども向けの資料を製作していくような、図書館主導でいいのかどうか分かりませんが、そういったことも検討していただければと思います。

滝沢委員 カルタのことも含めて、えほん図書館にもそういうものを置いていただけると良いと思います。最近えほん図書館では親御さんが子どもさんに読み聞かせをしている姿をすごくよく見かけるんです。以前はそんなにたくさんいらっしゃらなかったんですけど、ここのところすごく多くて、「赤ちゃんの部屋」や紙芝居のところ、大型絵本のところなどでお父さんが子どもさんに読み聞かせをしている、お母さんが子どもさんに読み聞かせしている、それで子どもさんが「今度はこの本を読んで」。そんないい具合に回っているのを感じます。今盛んにお話のあったカルタも置いていただけると、手に取っていただけるチャンスがあると思います。もうひとつ、子どもの読書活動を推進する取組の一環で読み聞かせボランティアの支援をしていただいております。毎年何回かボランティアステップアップ講座を開催していただいております。わらべうたとか絵本の選び方とか、子どもさんに対する接し方とか、すごくよく講義していただけるのでとてもありがたいし、勉強になります。この制度をこれからも続けていただけたらありがたいと思います。

長江委員 資料 3-1 の 9 ページ「(2)子どもの読書活動の推進」に「読書習慣の形成には、幼児期から…」と書いてありますが、やっぱり乳児の時から取り組むことが大事だと思うので、「乳幼

児」としていただけたらと思います。

梶田委員 読書バリアフリーに関連して、障がいのある方々の図書館利用や読書活動が進むといいなと思いますし、そのために現在もいろんな施策が行われていて、いろんな支援があるかと思っています。例えばボランティアセンターに登録いただいているボランティアさんも、例えば広報紙の点訳や音訳など、本当に精力的に活動していらっしゃいます。ただ、その担い手が本当にいない、次の世代を担っている方々がいらっしゃらないということがあります。自分の時間を割いて精力的に活動していただけてますし、ご自身がお持ちのものを持ち寄って活動している姿もありますので、そういう活動に対するサポートをしっかりとやっていただかないと、継続をしていくのは難しいなと思います。社協としてもサポートをしておりますが、やはり行政としてしっかりサポートする制度設計をしていただかないと本当に担い手がいなくなってしまうんじゃないかなという危機感を感じております。議事と直接的には関係ありませんが、それを支える施策として考えていただけるとありがたいと思っております。

水谷委員 読書バリアフリー法ということで、目の見えない人に向けて対面読書があったり、サピエでデージー図書を聞くことができるような仕組みがあったりして、本当にありがたいことに全国の音訳ボランティアさんがデージーデータをサピエに登録してくださるので、多くの読みたい本が聞けるような状態になっています。ただ、時代が進むにつれてデジタル機器でいろんなものを聞くようになり、以前はCDをデッキに入れば聞けたものが、そのデッキ自体にものすごくいろいろ機能がついて使い方がややこしくなっていることもあります。このバリアフリー法を進めていく、サピエを使った読書を進めていくにあたって、本当にデジタルデバインドも並行して解消していかなければいけないなとつくづく思います。そのために私たちは市民活動として、自分たちのできることでiPhone講座をやったりICT支援をやったりして、サポートしていきたいと思って頑張っているところです。そういったことも合わせて周知していただけたらありがたいと思います。

家禰会長 さきほど申しました堺市での研修で私が担当した内容がデジタルデバインドのことでして、機器類も含めて時代がどんどん進んでいきますので、そうしたデバイスの使い方もどんどん変わってきているんですね。ですので、図書館もそうしたデバイスの使い方も含めて、情報リテラシーについて考えていただければと思います。他にご意見とかご質問とかございますでしょうか。この案件につきましては、前回サービス計画についてご検討いただいたことを踏まえ修正した部分についてご承認いただけるかどうか。それに合わせて事業計画を作成したということで、いろんなアイデアを出していただけたかと思います。ご検討いただきまして取り入れられるところは取り入れていただいて、それで確定としていただければ良いかと思います。事業計画につきましては柔軟にアイデアを取り入れられるかと思うので、ご検討いただいて盛り込めるところは実施に移していただければと思います。他にご意見がないようでしたら議事(3)につきましては以上で終了とさせていただきます。これにて本日の議事は全て終了いたしましたので、進行を事務局にお返しいたします。

■閉会

赤尾主査 ありがとうございました。事務局より事務連絡を申し上げます。1 点目、本日の会議録を事務局で作成いたします。後日皆様へ内容確認のメールを送りいたしますので、ご確認をお願いいたします。2 点目、令和 7 年度第 1 回図書館協議会の開催時期は 7 月から 8 月頃を予定しております。時期が近づきましたら日程調整のご連絡をいたしますので、よろしくお願いいたします。それでは、これもちまして令和 6 年度第 2 回小牧市立図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。